

大阪経済大学 図書館案内 2021



新型コロナウイルスへの対応／
2020年度業務報告／利用統計／資料紹介



大阪経済大学

図書館 新型コロナウイルスへの対応

2019年の年末に発生した新型コロナウイルス（COVID-19）は、2019年度秋学期試験が終了し、春休みに入る頃から猛威を振るいはじめ、新年度を迎える頃には日本中が、やがて世界中が感染防止対策に振り回される羽目になりました。

ここでは、2020年度の本学図書館の新型コロナウイルスに対する特別対応をまとめます。



2020年

4月 入学式、新入生オリエンテーション中止

例年、新入生オリエンテーションで1年生全員に対して行っている図書館の説明、「利用ガイド」などの資料配布が一切できなくなりました。オリエンテーションは教室で行うため、2020年は新入生に一度入館してもらえよう「図書館クイズ」を新たに企画していましたが、全てボツとなりました。

緊急事態宣言発令、入構禁止

政府の緊急事態宣言発令に伴って大学全体が入構禁止となり、図書館も閉館に追い込まれました。

一般利用登録をされた学外者の利用も不可能となりました。



5月 複写物（ILL/所蔵資料）の自宅郵送、貸出郵送サービス開始

学生・教員の研究に支障が出ないように、資料の複写物を自宅に郵送し、また外出自粛要請により家から出られない学生達が読書できるように、図書館の郵送サービスを行いました。梱包材の調達、発送用伝票・返送用伝票の作成、集荷など、軌道に乗るまでは課題だらけとなりました。



6月 入構制限一部解除

5月21日に関西の緊急事態宣言は解除となり、6月より開館できるようになりましたが、当初2週間は来館したい日と時間帯を予約してもらう入館事前予約制とし、入館時にはゲート前に設置した受付で検温をしてもらいました。6月15日以降は入構制限が緩和され、予約は不要としましたが、ゲート前の受付は秋学期開始前まで継続しました。また、全ての閲覧席の1席おきに「着席不可」の掲示を貼り、利用者が密にならないようにしました。返却された図書は表紙のカバーの上から消毒液で拭き、館内10箇所に手指消毒液を設置し、消毒が出来ない新聞・雑誌については、利用の前後に手指消毒液で消毒し

てもらうようにしました。また対面の接触を減らすために自動貸出機の利用を推奨しましたが、タッチパネルでの操作のため、鉛筆についている消しゴムで操作してもらうようにしました。



図書館イベントのオンライン開催

図書館イベントについても、見直さざるを得ませんでした。春学期のビブリオバトルは、7月末にオンライン Teams で行うことになりました。本の紹介者となる学生5～7名、司会者とタイマーが画面に分割表示される方法、学外からの観客が質問する方法など、不慣れな Teams の操作に四苦八苦でした。

また、ライティングセミナーについては春学期は開催できませんでしたが、秋学期は Teams で行いました。こちらも、当日参加者に対してオンラインでグループワークを行うための工夫が必要でした。



9月 秋学期開始

秋学期からは対面授業も再開されたため、日曜開館を除いて通常通りの開館時間に戻し、同時に貸出郵送サービスも終了しました。ただし、一般利用登録者の利用は利用期間を延長することとしてお断りし、不都合が生じた一部の一般利用登録者には登録料を返金しました。

また、自粛生活を強いられている学生が自宅にいても読書を楽しめるように、大阪経大学会より電子書籍の寄贈をしてもらいました。それにより、Maruzen eBook Libraryに加えて、LibrariEという一般向けの（大学向けではない）タイトルが多い電子書籍を新たに導入しました。

2021年 1月 緊急事態宣言発令

1月14日の緊急事態宣言発令を受け、翌日より短縮開館とし、貸出郵送サービスを再開しました。

また秋期に続き、4月からの春期一般利用登録者募集も見送りました。

4月 蔓延防止等重点措置、緊急事態宣言発令

3月1日に大阪府の緊急事態宣言は解除され、春学期開始から通常開館になり図書館に学生の姿が戻った矢先、4月5日に大阪府に蔓延防止等重点措置が発令、14日には大阪府から大学に対しての要請が出され、17日より全てオンライン講義となり、1週間後の4月25日に緊急事態宣言が発令、再び短縮開館に戻すとともに、春休みで一旦終了した貸出郵送サービスも再開しました。

2021年度に入ってから緊急事態宣言の発令と解除が繰り返され、コロナウィルスの完全な終息はないとも言われます。対応はしばらく続くと思われるのですが、これまでの「当たり前」を見直す機会と捉えて、図書館としてできることをこれからも模索していきます。

2020年度 業務報告

DATE

より多くの学生の図書館利用、読書の推進、所蔵資料の活用、および図書館ができる地域への貢献を目指して、2020年度も様々な取り組みを行いました。

主な活動・できごと

01 「ビブリオバトル」第18回(7月)・第19回(12月)オンラインで開催

コロナ禍で多くの図書館イベントが実施困難となりましたが、ビブリオバトルについてはオンライン(Teams)での開催を試みました。

ビブリオバトルでは、少なくとも発表中の本の紹介者(バトラー)と残り時間を表示するタイマーが画面に映っていなければならない、本番で予定通りの画面割りにならないハプニングもあり、また表彰式はどうするか、等、慣れないTeamsでのオンライン開催に苦労させられました。

第18回 ビブリオバトル 7月31日(金) 3限

バトラー：7名

学生スタッフ：2名

観客人数：33名(うち大阪商業大学学生3名)

チャンプ本：桜井千姫 著『70年分の夏を君に捧ぐ』

チャンプ：経済学部1年生 中谷 省太さん



第19回 ビブリオバトル 12月12日(土) 2限

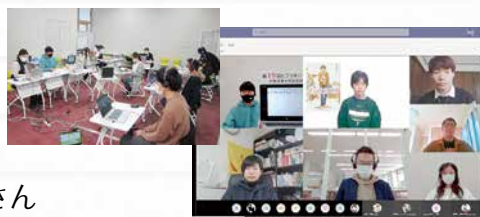
バトラー：5名

学生スタッフ：3名

観客人数：10名

チャンプ本：王城夕紀 著『青の数学』

チャンプ：経営学部4年生 吉川 明伽さん



02 本学学生が「大学ビブリオバトル・オンライン大会2020」に参加、活躍

隔年で関東と関西の会場で行われている全国大学ビブリオバトルも、オンラインによる開催となりました。本学からは第18回ビブリオバトルチャンプの中谷省太君と、経済学部2年生内藤那智さんが予選にエントリーしました。

その結果、中谷省太君が予選を突破し、見事準決勝へと勝ち進みました。



03 学生が本を選ぶ「選書フェア」10月に実施

例年、学生選書フェアは5月と10月の年2回開催していますが、コロナ禍で5月の開催はできず、10月の1回のみで開催となりました。

10月12~23日 学生20名参加、選書冊数164冊



04 選書フェアPOP「うーぽん大賞」

選書フェアではフェア参加学生に、選んだ本のうち3冊について、お薦め理由や内容の紹介について、小さなPOPを書いてもらいます。カラフルなペンを使ってイラストを描いたり、インパクトを狙ったり、毎回力作がたくさん見られますので、2013年秋の選書フェアより、POPの人気投票を行い、1位になったPOPを書いた学生に「うーぽん大賞」を授与しています。



第14回 うーぽん大賞

経営学部2年生 藤坂 大空さん

(ノーマン・F. カンター 著『黒死病 疫病の社会史』)



05 ライティングセミナー 実施

学生への学修支援の一環として、2015年度より開催しています。例年は学期ごとに開催していますが、春学期はコロナのため開催を見送り、秋学期もオンラインでの開催としました。

開催日 12月18日(金) 14:35~15:25

テーマ「伝わるプレゼンってなんだろう？」



06 ライティングセミナー の自習用コンテンツを作成

春学期にライティングセミナーが開催できませんでしたので、レポート作成で困っている学生のために、過去に開催したライティングセミナーのパワーポイントを動画化し、e-Learningのコンテンツにしました。

07 テーマ展示、ミニテーマ展示を実施

講義の大半がオンラインで外出の自粛も求められる中、入館者は激減しましたが、展示については原則的に例年と同じペースで、3ヶ月ごとに入れ替えるテーマ展示、および話題の本を集めたブックトラック(台車)1台分の小規模なミニテーマ展示を行いました。

また、他の利用者が借りた本の中に意外な出会いがあることもあります。返却処理後から書架に戻すまでの間、次の利用者が利用できるよう、「本日返却された本」として別置しました。

3月~9月 「キャリアデザイン」「韓国」
9月~11月 「統計学」「教職員おススメの本」
12月~2021年3月 「SDGs」「感染症、新型コロナウイルス」

● ミニテーマ展示

2016年5月~ 映画・ドラマの原作本
2019年6月~ 週刊読書人「書評キャンパス」紹介の本
4月~5月 4月のまいにち本CARD
4月~2021年3月 2020年本屋大賞
5月~6月 5月のまいにち本CARD
6月~7月 6月のまいにち本CARD
6月~12月 #BlackLivesMatter(人種差別)
7月~2021年2月 第163回芥川賞・直木賞
10月 ZEMI-1グランプリ応援
11月~ 2020年本屋大賞ノンフィクション本大賞
2021年2月~ 第164回芥川賞・直木賞



08 経大学の寄贈による電子書籍の大幅増加

大阪経大学の寄贈により、外出自粛を強いられている学生達がステイホーム中に読書を楽しめるように、大学の授業とは関係しない娯楽的要素の高い内容も含めた電子書籍を大量に購入しました。

学術図書の多いMaruzen eBookLibraryに加えて、一般図書がメインの電子図書館LibrariEを新たに導入し、マンガやライトノベル、自己啓発のハウツー本など、幅広いタイトルが揃いました。電子書籍は存在が見えにくくアピールも難しいので、利用促進のために展示を工夫しています。



09 「読書ラリー」実施 (9月19日～12月18日)

期間中、貸出1冊につき1つ押されるスタンプを7つ集め、そのうち2冊について読後の感想文を提出すると完走となり、図書カードが授与されるというイベントです。(対象図書：め・く～る、学生選書、テーマ展示図書、一般図書)

参加学生から提出された感想文を小冊子にまとめ、取り上げられた本の展示をしています。ここで紹介される本は貸出が多く、人気のコーナーとなっています。入館者が少ないため、予定の募集人数50名よりかなり少ない参加者数となりました。参加者 26名、うち完走者15名



10 「本のリユース」

重複その他の理由で図書館では不用になった図書・雑誌を、年2回無料で提供しています。2020年度はコロナのため、11月のみの開催となりました。またこれまで「本のリサイクル」と言っていましたが、今後も使われるイメージの「リユース」という呼び方に変えました。

対象 一般雑誌、旅行ガイドブック、資格試験テキスト、NHK語学テキスト・CD



11 貸出用ノートパソコンロッカー、オンデマンドプリンター導入

教育用パソコン端末の入替に伴って、グループ学習室のデスクトップパソコンを含む館内のデスクトップパソコンのうち39台減らし、ノートパソコン20台を貸出用ロッカーで、10台をカウンター内で管理し、また1階スタディエリアにオンデマンドプリンターを新たに設置しました。



12 中学校「職場体験学習」受入

大阪府下の中学校で進路選択学習の一環として行われている職場体験学習に協力しました。コロナのため実施を取りやめる中学校もありましたが、2校から2年生各2名、計4名を受け入れ、図書館のさまざまな業務を体験して頂きました。大人への気遣いまでできる生徒、将来の進路を見据えている生徒など、様々な中学生にお会いしています。

- ・大阪市立柴島中学校 10月5～7日 (3日間)
- ・大阪市立中島中学校 11月17～18日 (2日間)



図書館利用統計

2020年度の図書館は、閉館や開館時間の短縮および外出自粛要請、入構制限やオンライン授業など、コロナによるあらゆる影響を受け、利用が大幅に減少しました。特に2020年度入学生は新入生オリエンテーションを受けておらず、今後この学年の図書館利用に影響がないか懸念されます。

I. 図書館の利用状況

1 開館日数

本学の「新型コロナウイルス感染拡大防止に基づく行動基準（BCP）」に基づいて開館時間を短縮もしくは閉館をした。開館日数としては前年の約75%、時間数としては64%であっても、外出による感染の心配があり、また対面授業が行われず大学に来ない状態では、利用数はその割合を更に下回るものとなった。

	2018	2019	2020	前年比
開館日数	296	295	221	74.9%
内、日曜開館	23	19	0	0.0%
内、試験前休日開館	4	4	0	0.0%
開館時間	3,444.25	3,456.25	2,223.0	64.3%

※入学式・卒業式・オープンキャンパスのカウンター対応は含まない

2 入館者数

入館者数の学部生実人数から、2020年度に一度以上入館した学生は、年度末時点の在学生数（6,693名）の35.0%（2019年度97.6%）であった。

入館者数	年度	延べ人数	実人数	うち学部生
	2018	206,472	7,944	7,136
	2019	194,656	7,673	6,838
	2020	16,205	2,779	2,441
	前年比	8.3%	36.2%	35.7%

※学生証を携帯しなかった利用者や入館ゲートを通らなかった教職員等は含まれない。
また、入館ゲートのデータ取得エラーを含まない。

●学部生の月別入館者数（実人数）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2018	4,390	4,801	4,601	5,629	568	2,973	4,352	4,431	4,011	4,727	2,347	1,109
2019	4,285	4,171	4,469	5,288	1,468	2,782	4,123	3,993	3,742	4,464	2,052	902
2020	115	0	196	292	215	590	1,127	917	848	665	295	439
前年比	2.7%	0.0%	4.4%	5.5%	14.6%	21.2%	27.3%	23.0%	22.7%	14.9%	14.4%	48.7%

●学部生の入館者数（延べ）内訳

	1年生	2年生	3年生	4年生	合計	年度末時点在学生数	1人当たり入館回数
経済学部	955	814	1,578	1,426	4,773	2,427	2.0
経営学部1部	398	992	1,449	1,478	4,317	2,017	2.1
経営学部2部	93	85	62	341	581	447	1.3
情報社会学部	195	465	558	761	1,979	1,064	1.9
人間科学部	496	155	610	823	2,084	738	2.8
合計	2,137	2,511	4,257	4,829	13,734	6,693	2.1

●1日平均入館者数

年度	全体	うち学部生
2018	702.4	656.5
2019	659.9	616.8
2020	73.3	62.1
前年比	11.1%	10.1%

●日曜開館利用者数（のべ）

	入館者数	貸出人数	貸出冊数
2018	1,066	142	361
2019	1,189	158	461
2020	0	0	0

3 総利用件数（貸出・複写・ILL・AVブース利用合計）

	2018	2019	2020	前年比
総利用人数	24,063	20,590	4,203	20.4%
総利用件数	54,428	43,638	10,278	23.6%

4 図書の貸出冊数

コロナ禍で大学に来られない学生・教員のため、郵送による貸出サービスを実施し、合計272名、1,205冊の申し込みがあった。しかし学部生の入館回数が昨年の10分の1以下、全体の利用は4分の1となった。

	貸出人数				貸出冊数			
	2018	2019	2020	前年比	2018	2019	2020	前年比
学部生	12,968	10,959	2,549	23.3%	39,563	29,638	5,946	20.1%
院生	403	364	291	79.9%	901	863	776	89.9%
教員	529	544	278	51.1%	1,543	1,583	932	58.9%
職員	556	637	491	77.1%	1,203	1,560	1,049	67.2%
卒業生他	996	1,077	57	5.3%	2,448	2,843	166	5.8%
計	15,452	13,581	3,666	27.0%	45,658	36,487	8,869	24.3%

※卒業生他には聴講生・短期留学生・学外研究者・一般利用者を含む。

●学部生1人あたり年間入館回数・図書貸出回数・冊数

学部生全体の入館者数・貸出回数・冊数を年度末時点の在学生数（2020年度は6,693名）で割ったもの。

	年度	2018	2019	2020	前年比
入館回数		26.2	26.0	2.1	8.1%
貸出回数		1.8	1.6	0.4	25.0%
貸出冊数		5.3	4.2	0.9	21.4%

●学部生の貸出人数内訳

	1年生	2年生	3年生	4年生	合計	年度末時点在学生数	1人当たり貸出回数
経済学部	289	98	273	377	1,037	2,427	0.4
経営学部1部	52	98	172	313	635	2,017	0.3
経営学部2部	30	20	14	59	123	447	0.3
情報社会学部	59	73	106	133	371	1,064	0.3
人間科学部	169	29	90	95	383	738	0.5
合計	599	318	655	977	2,549	6,693	0.4

●学部生の貸出冊数内訳

	1年生	2年生	3年生	4年生	合計	年度末時点在学生数	1人当たり貸出冊数
経済学部	446	205	639	970	2,260	2,427	0.9
経営学部1部	118	195	405	835	1,553	2,017	0.8
経営学部2部	88	42	41	168	339	447	0.8
情報社会学部	162	156	244	348	910	1,064	0.9
人間科学部	353	58	267	206	884	738	1.2
合計	1,167	656	1,596	2,527	5,946	6,693	0.9

●貸出図書内訳

旅行ガイド・資格テキスト関連 貸出冊数

	2018	2019	2020	前年比
学部生	2,373	2,459	765	31.1%
院生	25	25	66	264.0%
教員	109	106	4	3.8%
職員	128	101	93	92.1%
卒業生他	176	179	4	2.2%
計	2,811	2,870	932	32.5%

音声付き語学テキスト貸出件数

	貸出人数（実人数）				貸出件数（冊数）			
	2018	2019	2020	前年比	2018	2019	2020	前年比
学部生	460	420	109	26.0%	886	838	196	23.4%
院生	5	4	2	50.0%	9	10	2	20.0%
教員	27	20	10	50.0%	51	51	21	41.2%
職員	5	5	0	0.0%	14	8	0	0.0%
卒業生他	40	34	0	0.0%	114	118	0	0.0%
計	537	483	121	25.1%	1,074	1,025	219	21.4%

●郵送貸出サービス

実施期間 ①2020年5月15日（金）～6月14日（日）
 ②2020年6月23日（火）～9月18日（金）
 ③2021年1月15日（金）～4月9日（金）

2020年度はコロナ禍の特別対応として、入構禁止期間を中心に、郵送貸出を行った。OPAC（蔵書システム）もしくはメールを用いて申し込み、来館しての貸出冊数とは別に一度に5冊まで、通常貸出期間＋7日間借りることが出来、返却は着払いで返送するというものである。特に最初の緊急事態宣言発令時には利用が多かった。

所属別貸出（実施期間全体の実人数）

所 属	申込		貸出		1人当たり 平均申込冊数
	人数	冊数	人数	冊数	
学部生	242	1,029	239	888	4.25
大学院生	27	171	27	159	6.33
教員	3	5	3	5	1.67
合計	272	1,205	269	1,052	4.43

学部生申込冊数

学 部	1回生	2回生	3回生	4回生	合計
経済	53	48	65	169	335
経営1部	21	20	110	156	307
経営2部	33	9	23	31	96
情報社会	38	12	62	77	189
人間科学	26	5	37	34	102
合計	171	94	297	467	1,029

分類別・学部生申込時期別 ※文庫・新書59冊は0～9門に振り分けた

分類	0門	1門	2門	3門	4門	5門	6門	7門	8門	9門	PB	語学	問題集	旅	展示分	合計
5月	15	78	13	132	12	11	23	39	9	66	1	16	26	4	2	447
6月	6	13	5	61	4	3	17	15	4	23	0	4	10	4	0	169
7月	1	5	4	35	6	6	12	10	0	11	0	2	3	0	0	95
8月	3	7	9	47	5	3	3	13	1	22	0	10	13	0	1	137
9月	0	2	1	12	4	0	12	1	0	1	0	0	1	0	3	37
1月	1	5	1	16	0	0	0	3	1	25	0	2	14	0	1	69
2月	3	5	0	7	0	0	0	1	0	18	0	2	16	3	0	55
3月	0	0	0	1	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	10
4月	0	0	0	1	0	0	1	1	0	2	0	0	1	4	0	10
合計	29	115	33	312	31	23	68	83	15	177	1	36	84	15	7	1,029

5 複写・予約・購入希望・AVブースその他受付件数

●複写件数

「複写申込書」により件数をカウント。

	2018	2019	2020	前年比
学部生	346	227	135	59.5%
院生	1,033	876	469	53.5%
教員	254	147	91	61.9%
職員	2	37	60	162.2%
卒業生他	454	212	3	1.4%
計	2,089	1,499	758	50.6%

●AVブース利用件数

	2018	2019	2020	前年比
学部生	6,177	4,973	104	2.1%
院生	4	4	0	0.0%
卒業生他	74	42	1	2.4%
計	6,255	5,019	105	2.1%

●貸出予約、購入希望、その他利用件数

2020年度よりキャンパス全体にWifiが入るようになり、図書館の無線LANは廃止となった。同時に館内のデスクトップパソコン54台が8台（地下書庫を含む）を残してノートパソコンに入れ替わった。2019年度までは図書館で準備したノートパソコン5台の貸出を行っていたが、2020年度より教育用ノートパソコン30台のうち20台を貸出用ロッカーで、10台をカウンター内で管理している。貸出用ロッカーは基本的に学生が操作し、貸出手続きをする。AVブースについては、夏季休暇終了まで使用停止、秋学期も1ブースごとに使用停止とし、2～3名で利用できるブースも1名のみの使用とした。

	2018	2019	2020	前年比
貸出予約	257	287	303	105.6%
購入希望	98	59	7	11.9%
自動書庫出納	1,700	1,757	1,163	66.2%
無線LAN利用申込	13,936	16,794	—	0.0%
ノートPC貸出	176	427	1,432	335.4%

6 図書館間相互利用 (ILL) 件数

	貸借	複写	計	2018年度	2019年度
依頼 (借)	124	422	546	426	633
受付 (貸)	48	788	836	953	900

● 借用・複写依頼 (人数)

年度	2018	2019	2020	前年比
学部生・院生	72	65	48	73.8%
教職員	97	135	136	100.7%
計	169	200	184	92.0%

● 紹介状による閲覧 (人数)

年度	2018	2019	2020	前年比
受付	19	26	12	46.2%
依頼	8	6	13	216.7%

7 電子ジャーナル・データベースの利用

新型コロナウイルス感染拡大防止措置として、データベース各社より学外アクセス可能な専用 URL や ID 発行等、大学図書館を対象に様々な特別対応が提供された。教員より、学生が自宅からデータベースを利用可能かという問い合わせも多く寄せられたが、利用統計からは外出自粛で来館不要のデジタルコンテンツの利用が増えたとい概に言うことはできない。コロナ禍のせいで例年より電子ジャーナル、データベースが十分に利用されなかったのだとすれば、いかに混乱した1年であったかということが言えそうである。

① 日経テレコン21

年度	件数
2018	1,082,130
2019	979,621
2020	1,373,613

② 朝日新聞 聞蔵Ⅱビジュアル

年度	件数
2018	1,982
2019	3,326
2020	1,129

③ magazineplus (雑誌論文)

年度	件数
2018	807
2019	853
2020	313

④ CiNii

年度	件数
2018	4,188
2019	9,210
2020	5,612

⑤ EBSCOhost (Business Source Premier)

年度	利用件数	検索件数
2018	1,474	3,711
2019	1,296	3,650
2020	480	4,280

※2018、2019年 Academic Search Premier を含む
※2020年 COUNTER5による統計

⑥ EBSCO Econlit

年度	利用件数	検索件数
2018	193	644
2019	107	311
2020	134	458

※2020年 COUNTER5による統計

⑦ EBSCO PsycInfo

年度	利用件数	検索件数
2018	222	526
2019	181	501
2020	284	730

⑧ Lexis (英米法)

年度	件数
2018	806
2019	1,030
2020	1,669

⑨ TKC ローライブラリー (LEX/DB) (日本法)

年度	件数
2018	13,420
2019	10,431
2020	8,752

⑩ NEEDS FinancialQuest (日本・企業情報)

年度	利用データ数
2018	28,936,921
2019	6,662,185
2020	27,857,420

⑪ Mergent Online Product (英米・企業情報)

年度	利用件数
2018	842
2019	765
2020	749

⑬ 東洋経済デジタルコンテンツライブラリー

年度	利用件数
2018	50,834
2019	65,029
2020	57,385

タイトル別内訳

週刊東洋経済	5,381	CSR企業白書	133	株価総覧	109	
業界地図	5,924	CSR企業総覧	922	大株主総覧	22	
会社四季報	3,265	別冊/臨時増刊/MOOK	653	外資系企業総覧	619	
会社四季報プロ500	1,283	会社財務カルテ	505	地域経済総覧	11	
会社四季報未上場会社版	6,754	JAPAN COMPANY HANDBOOK	225	日本の企業グループ	53	
役員四季報	821	一橋ビジネスレビュー	336	金融ビジネス	22	
就職四季報	4,009	海外進出企業総覧	151	Think!	143	
就職四季報 優良・中堅企業版	6,380	オール投資	187	統計月報	12,421	
就職四季報・女子版	2,716	全国大型小売店総覧	22	都市データバック	4,318	
					合 計	57,385

⑫ JapanKnowledge (百科事典)

年度	利用件数
2018	665
2019	667
2020	3,051

⑭ 日経 BP 記事検索

年度	件数
2018	2,971
2019	2,441
2020	2,317

⑮ ELSEVIER (オランダ・経済学関係)

年度	利用件数
2018	1,488
2019	1,745
2020	2,124

※2020年 COUNTER5による統計

⑯ JSTOR (英・経済誌)

年度	件数
2018	1,041
2019	1,318
2020	2,245

※2020年 COUNTER5による統計

⑰ Springer LINK (英・経済、自然科学系)

年度	利用件数
2018	757
2019	718
2020	1,021

※2020年 COUNTER5による統計

⑱ Wiley Blackwell Synergy (経済系)

年度	件数
2018	363
2019	592
2020	397

※2019、2020年 COUNTER5による統計

⑲ NBER Working Paper Online (英・雑誌)

年度	件数
2018	48
2019	57
2020	28

⑳ Taylor & Francis (英・経済、社会科学系)

年度	件数
2018	165
2019	116
2020	144

※2020年 COUNTER5による統計

㉑ Cambridge Journal Online (英・雑誌)

年度	件数
2018	130
2019	153
2020	71

※2019、2020年 COUNTER5による統計

㉒ 人民日報

年度	全文表示件数
2018	1,727
2019	1,469
2020	1,056

㉓ Making of the Modern World Part I, II (電子書籍)

年度	件数
2018	18
2019	36
2020	95

㉔ CNKI (中国学術文献オンラインサービス)

年度	件数
2018	3,114
2019	52
2020	268

㉕ JURIS Online (ドイツ法)

年度	件数
2018	930
2019	1,001
2020	857

㉖ Academic Onefile

年度	件数
2020	887

8 電子書籍の利用

自宅からでも利用が出来る、非接触で読書を楽しめるものとして、電子書籍はコロナ禍で一気に注目された。本学でも経大会からの寄贈を得て、大幅にタイトルを増やすことができた。特にステイホームを強いられる学生向けとして、娯楽としての読書ができる本のタイトルを揃えるということで、一般図書（学術書以外）を2年間（もしくは貸出回数）限定で契約するプラットフォーム LibrariE（ライブラリエ）を新たに導入した。買い切り型電子書籍より若干安価で、かつ出版社にとっても導入のハードルが下がり、提携している出版社が幅広いが、2年で消滅してしまうため図書資料としての扱いが難しい。

① Maruzen eBook Library（買い切り型）

年度	利用件数	年次増減率
2018	388	200
2019	265	218
2020	1,319	482
前年比	497.7%	221.1%

② LibrariE（期間限定型：2年間）2020年10月利用開始

年度	閲覧	貸出	年次増減率
2020	406	249	719

Ⅱ. 利用者教育

1 ゼミガイダンス（実施回数）

春学期は開催不可能であったため、特に基礎演習の秋学期申込数は増えた。

		2018		2019		2020	
		実施数	参加者数	実施数	参加者数	実施数	参加者数
春学期	基礎演習	50	592	54	644	—	—
	専門演習他（基礎演習以外）	21	167	14	163	—	—
秋学期	基礎演習	10	120	11	115	24	259
	専門演習他（基礎演習以外）	31	413	28	358	23	243
計		112	1,292	107	1,280	47	502

2 新入生オリエンテーション

対面での新入生オリエンテーションは開催中止となり、9月の健康診断時に配布資料を設置するに留まった。資料は7～8割の新入生に行き渡ったが、資料の受領のみであると、資料を貰ったこと自体がうろ覚えであるようで、短時間であっても対面でガイダンスを受けるのとは、効果が決定的に異なる。

年度	2018	2019	2020
I 部 生	1,423	1,259	0
II 部 生	100	95	0
参加者計	1,523	1,354	0
入学者数	1,817	1,651	1,620
参加率	83.8%	82.0%	0.0%
院 生	12	9	0

3 ライティングセミナー

2015年度より図書館のライティングサポートの一環として学期ごと年2回ライティングセミナーを開催しているが、2020年度は春学期の開催は見送り、過去に開催したライティングセミナーを、自宅から閲覧できる e-Learning のコンテンツとして編集した。秋学期に開催したライティングセミナーではワークを用いたためオンラインと対面の両方での開催が難しく、オンラインで開催したが、入館者が少ないため例年のような宣伝ができず、参加者は2名となった。

開催日	テーマ	参加者数
12/18	伝わるプレゼンってなんだろう？	2

4 その他のガイダンス

■例年4月実施の「図書館ツアー」は9月に実施し、計8名（内1年生6名）の参加があった。

Ⅲ. 社会人・学外者の図書館利用

1 一般登録申込数

感染防止対策として、一般利用者、その他の学外者の利用も一時期を除いて停止した。一般利用者については、秋期（10月～9月）、春期（4月～3月）の募集も停止し、2020年度有効期限の利用証カードについては有効期限を延長した。

	秋期（9月）		春期（3月）	
2020年度	0		0	
新規登録件数	2018	2019	2020	
学部卒業生	68	57	5	
大学院卒業生	11	9	2	
学外研究者等	144	146	1	
計（人）	223	212	8	
卒業生・一般市民の貸出冊数（冊）	2,191	2,480	98	

2 高校生夏期図書館開放

毎年8月（定期試験終了後）に東淀川区在住・通学の高校生に図書館を開放しているが、2020年度は募集を中止した。

年度	2018	2019	2020
申込人数	29	20	0
のべ利用人数	105	43	0

資料紹介

図書館では、研究・教育用に高額資料類を購入、所蔵しています。
以下は、2020年度に新規に契約、購入した高額資料です。
研究・教育に、幅広く役立ててください。



The Making of the Modern World, Part III

限界革命以後の近代経済学形成期に活躍した欧米の経済学者の代表著作に加えて社会調査論、国有化論、協同組合論の古典的著作を含む、1890年から1945年に刊行された約5,000巻を収録しています。既に導入しているPart I, IIと合わせて、一気に串刺し検索することが可能です。

スタート画面 <https://go.gale.com/ps/start.do?p=MOME&u=osakaeu>

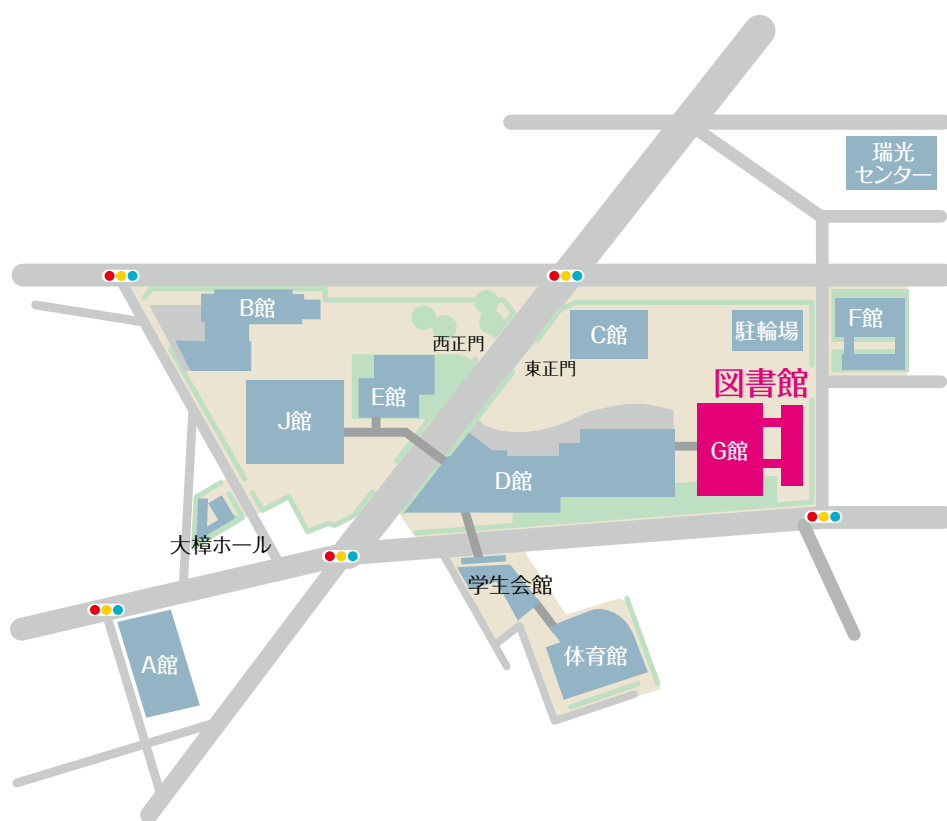


Financial Times Historical archive 1888 – 2016

1888年当時、「世界の銀行」としてのイギリスを支えたロンドンの金融センターCityの関係者に金融情報を迅速かつ正確に提供されることを強く希求され創刊した、イギリスを代表する経済新聞“Financial Times”の創刊から2016年までの全ての号を網羅した、70万ページをこえるデジタルアーカイブです。

スタート画面 <https://go.gale.com/ps/start.do?p=FTHA&u=osakaeu>





大阪経済大学図書館

〒533-8533 大阪市東淀川区大隅 2-2-8

TEL : 06-6328-2431 (代表) FAX : 06-6329-9205 (図書館事務室)

URL <https://www.osaka-ue.ac.jp/research/library/>